

第 2 3 回 医 療 計 画 の 見 直 し 等 に 関 する 検 討 会	資料 2 - 3
令 和 2 年 1 1 月 1 9 日	

参考資料(第28回地域医療構想に関する ワーキンググループ事例発表資料)

1 松岡参考人提出資料 (苫小牧市立病院)

COVID-19の対応

2020.11.5 苫小牧市立病院

苫小牧市

●人口 170,370人

●年齢構成

15歳未満	12.25%
15～64歳	58.44%
65歳以上	29.31%

* 高齢化率 30%に迫る

●地域の特徴

世界的にも珍しい大型の内陸式掘込港と
北海道の空の玄関「新千歳空港」を有する
交通の要衝

北海道工業地域を代表する工業都市・港湾都市



出典:人口統計 苫小牧市HP 2020.9.30 データ 地図:北海道庁HP

苫小牧市立病院

感染症指定医療機関

- 胆振総合振興局
苫小牧市立病院
市立室蘭総合病院
- 日高振興局
総合病院浦河赤十字病院

苫小牧市立病院は、高度医療を提供する東胆振及び日高医療圏の中核病院としての役割を担っている

苫小牧保健所
管轄区域
(東胆振)

- 苫小牧市
- 安平町
- 厚真町
- むかわ町



日高医療圏・日高振興局



出典: 地図 胆振総合振興局HP・日高振興局HP

苫小牧市立病院 施設概要

●病床数 382床

●第二種感染症指定医療機関

感染症病床 4床

●診療科 23科

内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・神経内科・小児科

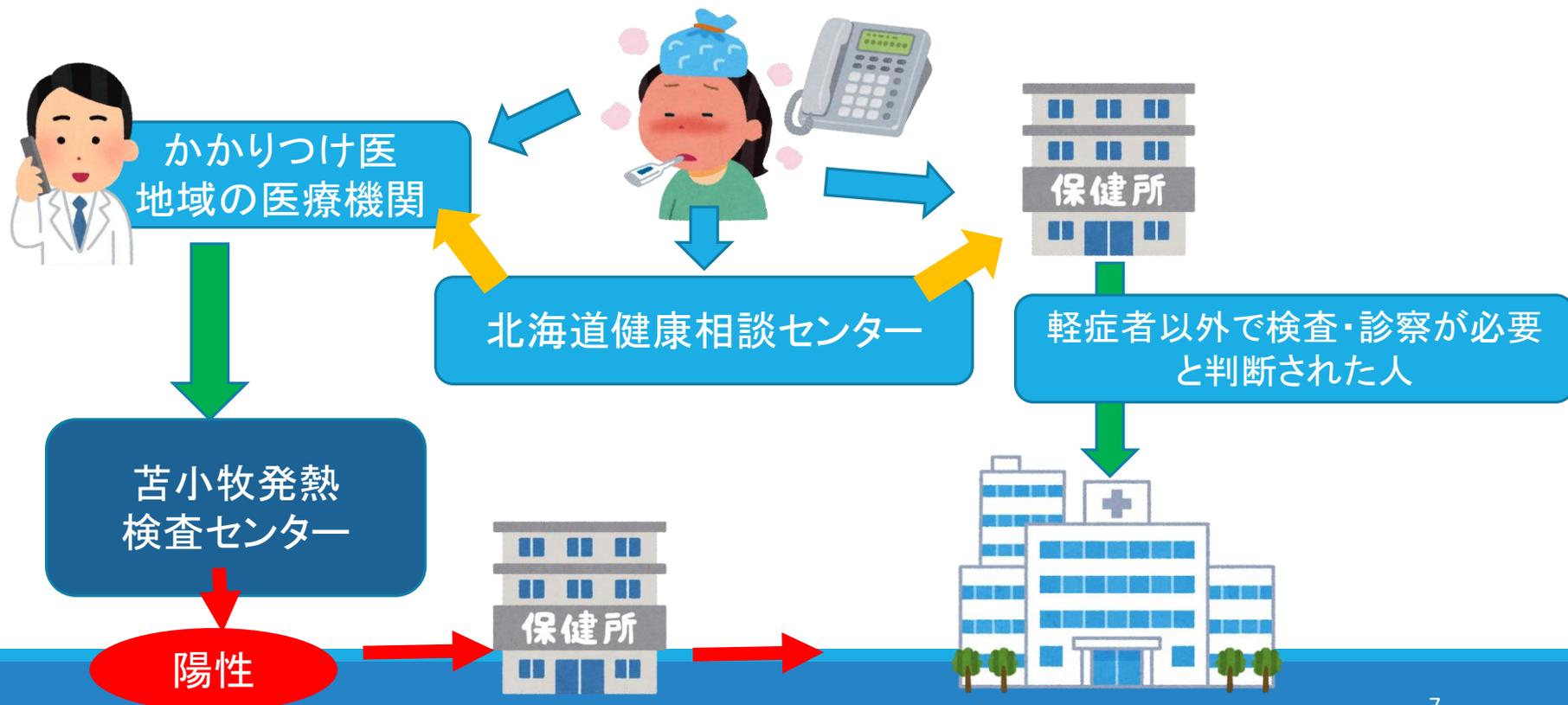
新生児科・外科・内視鏡外科・整形外科・形成外科・脳神経外科

皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・歯科

歯科口腔外科・リハビリテーション科・病理診断科・麻酔科

COVID-19 地域での体制

- COVID-19患者は疑似症例を含め当院に入院
- 二次救急医療機関であり、救急患者も受け入れ



COVID-19患者受け入れ

◆2020.2.14 道内1例目のCOVID-19患者発生

入院受け入れ準備開始

◆2020.2.21 当院1例目

千歳管内で発生したCOVID-19患者受け入れ要請あり
感染症病床へ

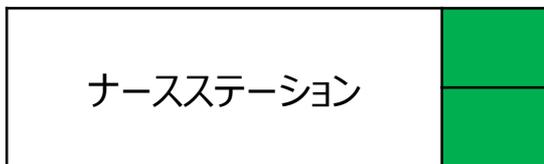
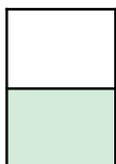
◆2020.2.25 病棟をCOVID専用体制変更

疑似症例入院増加に伴い、西5病棟(48床)を
COVID-19専用病棟とした

西5病棟 感染症病床4床



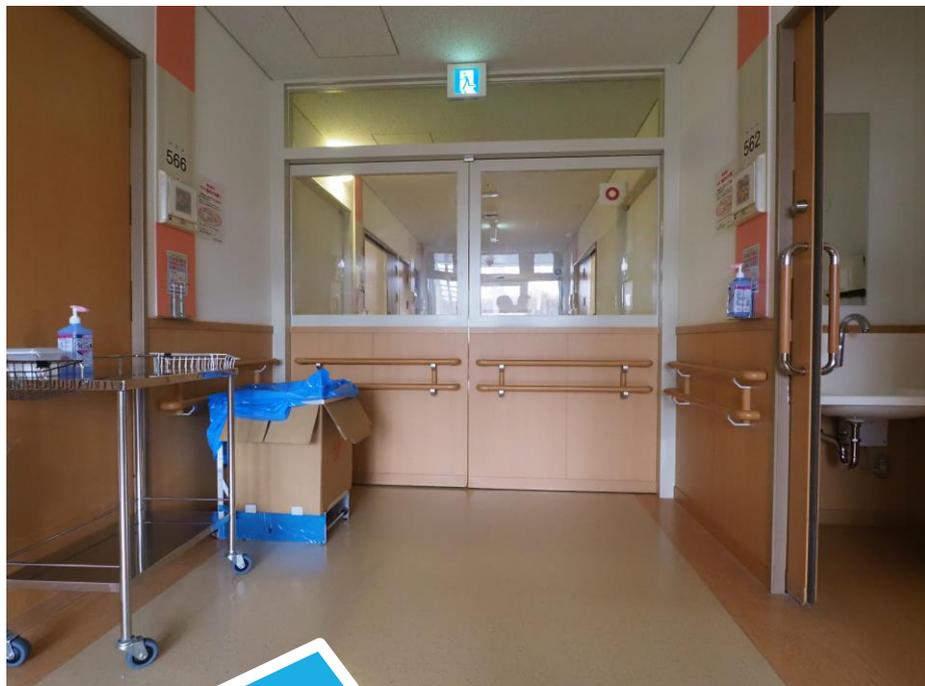
西5病棟 48床



扉があり仕切られている

- 2/21 1例目○へ
- 2/22 ■ 枠を開ける
- 2/25 ■ 枠も開けて専用の病床とした

病棟の状況



感染症病床4床の前には扉がある
4床すべて陰圧個室
トイレ・シャワーあり



増床依頼あり

◆2020. 4. 8 千歳市でクラスター発生

◆2020. 4. 18 道から増床依頼あり

東4病棟閉鎖、看護師を西5病棟へ再配置

◆2020. 4. 21 感染症病床 8床へ増床

◆2020. 4. 27 道から12床までの増床依頼あり、増床

◆2020. 4. 30 東5病棟を東4病棟に移動

増床時の当院の対応

通常時

西6	48床		東6	48床
西5	44床 感染症室 4床		東5	48床
西4	48床		東4	36床
西3	43床		東3	43床
2階	ICU・CCU・人工透析室・リハビリ・医局 手術室・検体検査室・病理検査室等			
1階	外来・救急外来・検査・医事課・薬剤部・ 地域連携室・中央処置室等			

COVID-19患者受入 感染症病床 増床後

西6	48床		東6	48床
西5	COVID専用 12床 疑似 4床		東5	4/18～ 48床閉鎖 8/18～ 再開
西4	46床		東4	48床
西3	43床		東3	43床
2階	ICU・CCU・人工透析室・リハビリ・医局 手術室・検体検査室・病理検査室等			
1階	外来・救急外来・検査・医事課・薬剤部・ 地域連携室・中央処置室等			

増床後

パーティションや
床にテープを貼り
エリアを分けて
ゾーニング

- COVID-19 確定例 51名受け入れ
- COVID-19 疑似症例 84名受け入れ



汚染している
个人防护具の脱衣の
場所もゾーニングし
場所を決めている



2 大谷参考人提出資料 (雲南市立病院)



新型コロナウイルスへの対応

～第28回地域医療構想に関するワーキンググループ～



1. 病院の外部環境

地域の位置付け

2. 収容した病床の確保

病棟の運用方法

3. 導線・ゾーニング

どのように運営したか

4. 人員の確保

どのようにコロナ病棟のスタッフを決めたか

島根県雲南市



- 面積:553.4km²(東京23区の約9割)
- 人口:37,273人(令和2年9月末)
- 高齢化率:39.29%

概要

病床数（算定区分別）

・一般病棟（急性期）	1 5 5 床
・地域包括ケア病棟	4 8 床
・回復期リハビリテーション病棟	3 0 床
・医療療養病棟	4 8 床

合計 281床

※感染症病床：4床

診療科

内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・耳鼻咽喉科
眼科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・精神科・リハビリテーション科・歯科口腔外科

合計 15科

※赤字：非常勤体制

職員数（臨時・パート・嘱託職員含む）

・常勤医師	2 7 名
・看護職員	2 0 2 名（看護師170・助産師11・准看護師15・保健師6）
・その他	1 7 7 名

合計 406名

表1-3-1

医師偏在指標

圏域名		医師偏在指標	順位	分類	医師実数 (人) 平成28(2016)年 12月31日時点	標準化医師数 (人) 平成28(2016)年 12月31日時点	人口 (10万人) 平成30(2018)年 1月1日時点
全 国		239.8			304,759	306,269.7	1,277.07
島 根 県		238.7	21		1,879	1,876.7	6.91
二 次 医 療 圏	松 江	222.8	80	多 数	612	599.6	2.43
	雲 南	112.5	333	少 数	77	74.2	0.57
	出 雲	381.4	6	多 数	767	796.4	1.75
	大 田	137.4	291	少 数	93	87.1	0.55
	浜 田	180.2	159		168	160.2	0.79
	益 田	158.5	235	少 数	133	129.5	0.61
	隠 岐	143.1	281	少 数	29	29.6	0.20

出典：島根県医師確保計画
(第3章医師確保計画の方針・施策の方向)

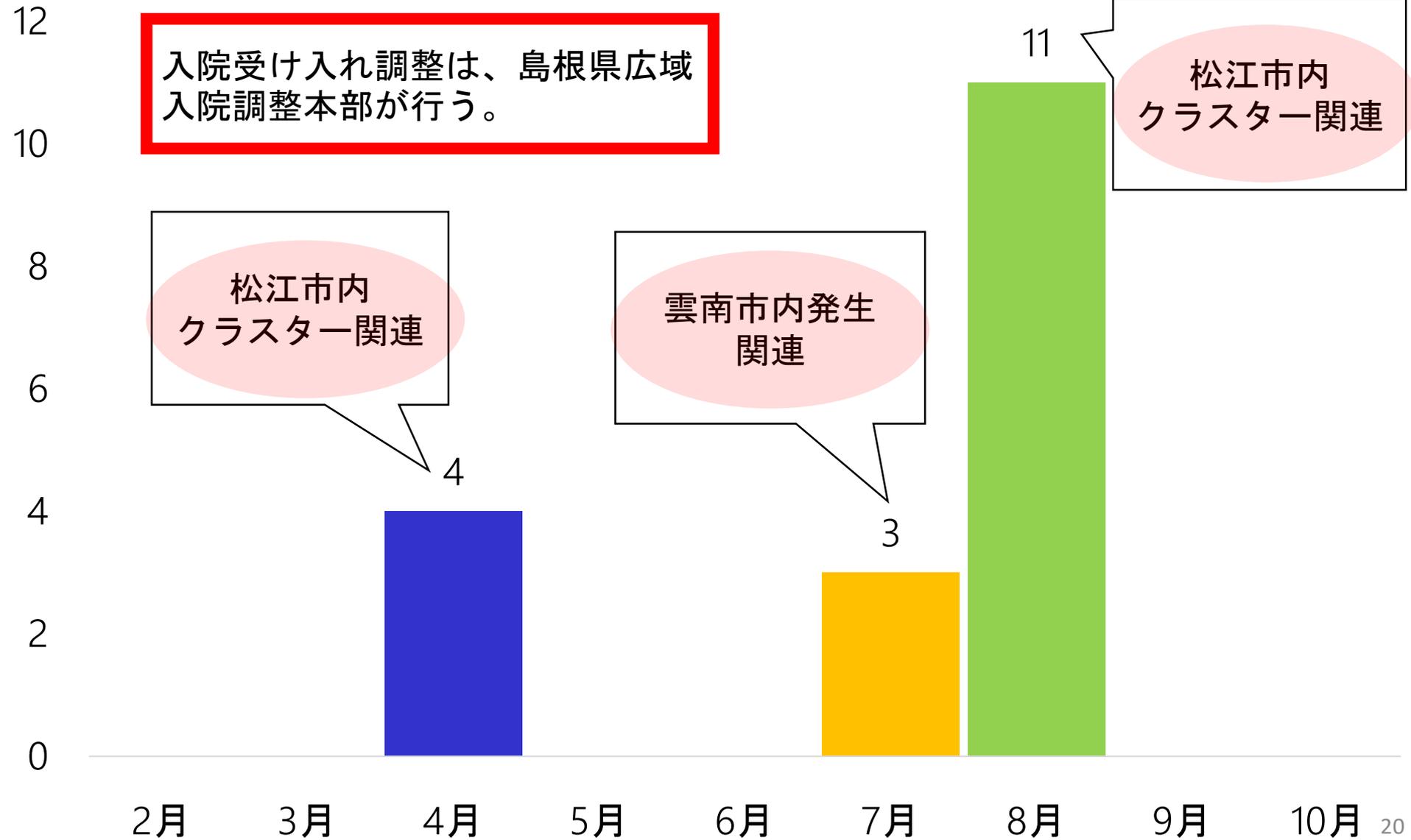
陽性者受け入れ数(人)

入院受け入れ調整は、島根県広域入院調整本部が行う。

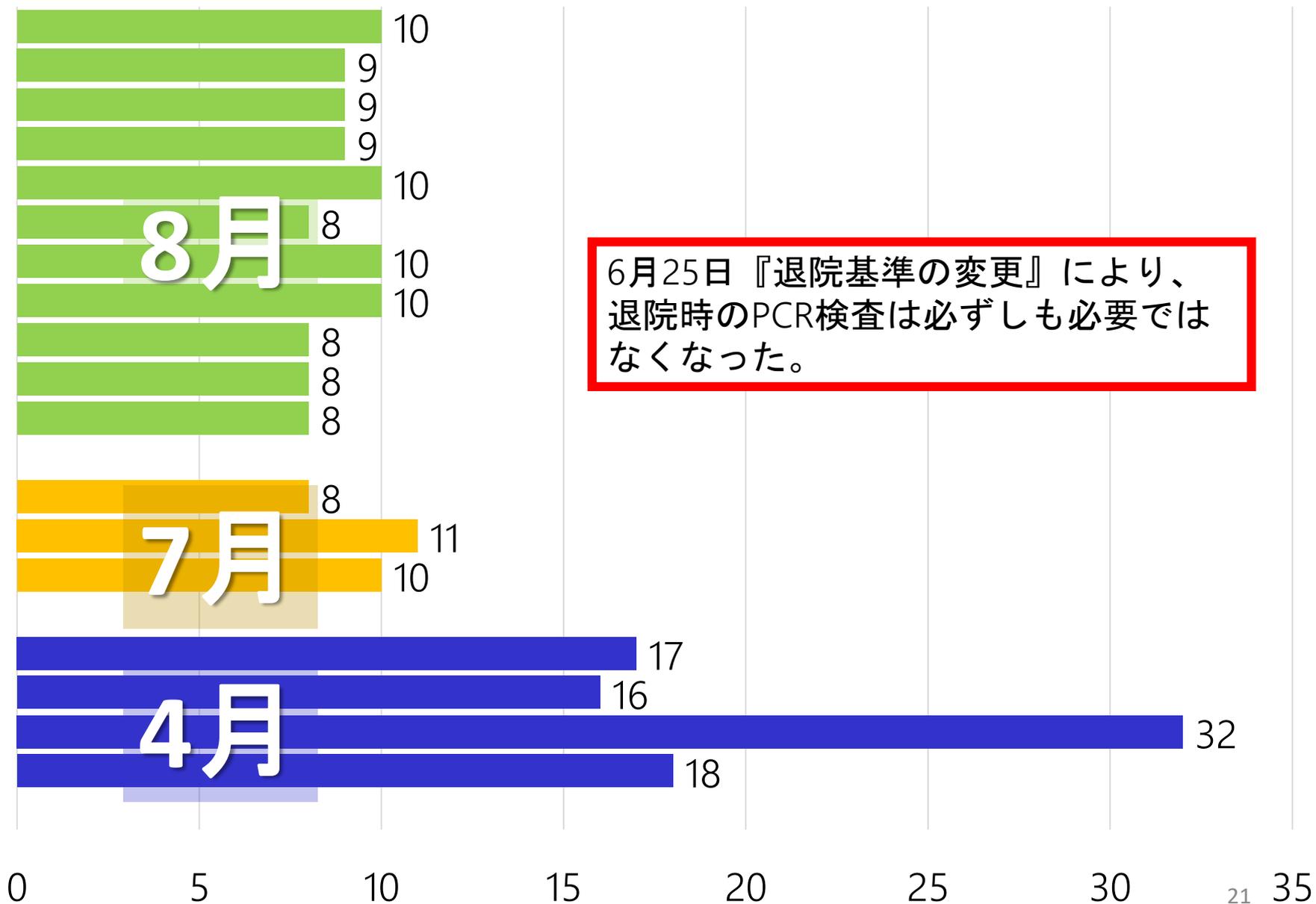
松江市内
クラスター関連

雲南市内発生
関連

松江市内
クラスター関連



陽性者の在院日数(日)



地域包括ケア病棟48床
平均稼働率90%



病棟における ゾーニング (平時)

汚染区域

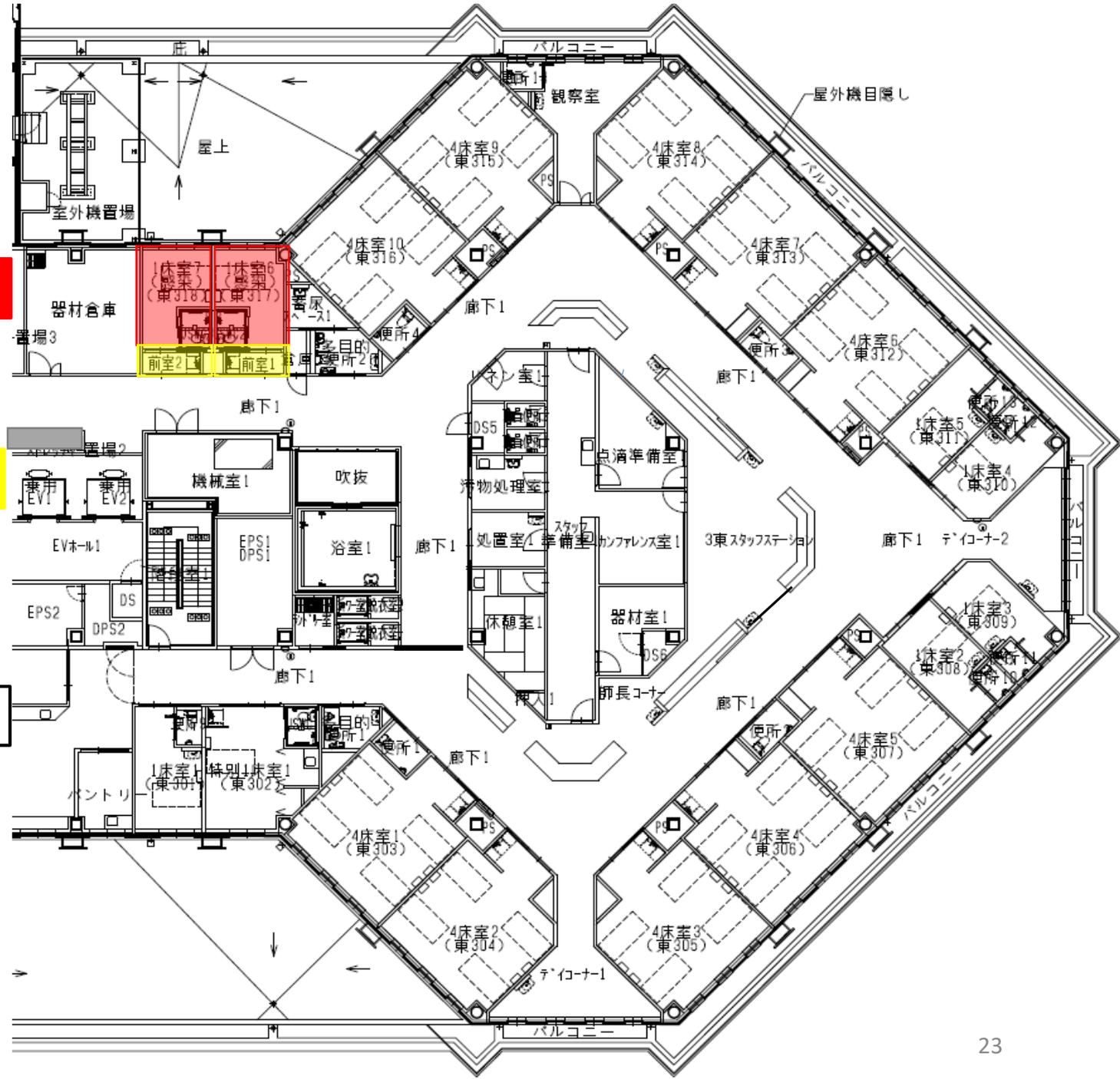
PPEを着るべき場所
(患者ゾーン)

準汚染区域

PPEを着るべき場所
汚染PPEを脱ぐ場所
(患者は入らない)

清潔区域

PPEを着けては
いけない場所





病室

4床室を2床室として使用

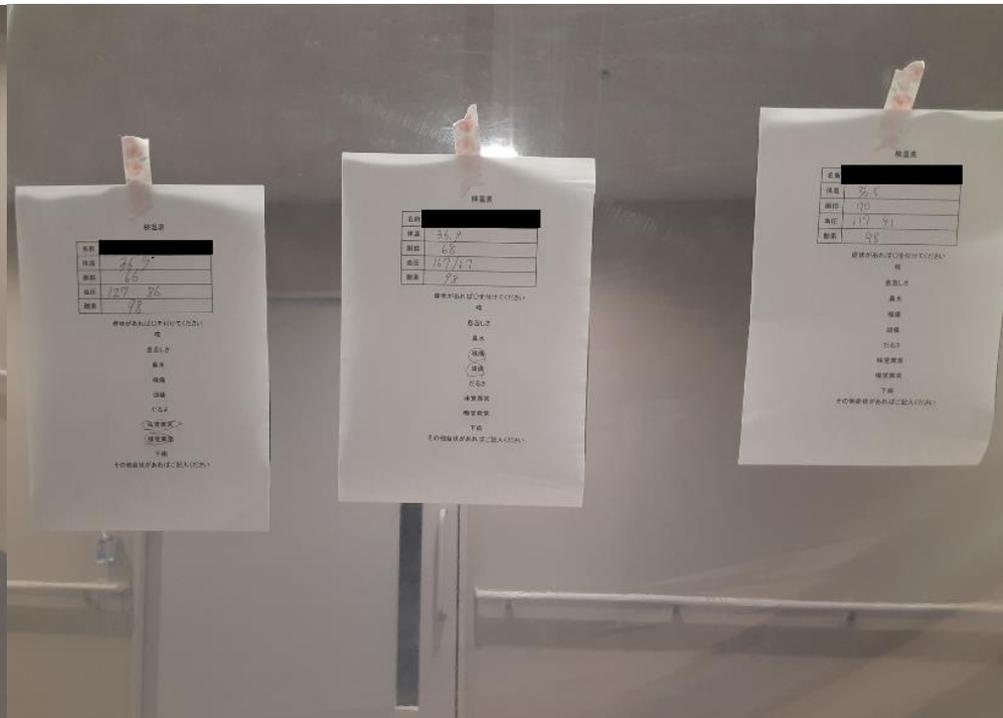
ビニールシートで清潔区域を拡大 (7月の病棟編成時より)



診察コーナー (ビニールシート越しの対面)



セルフ バイタルチェックコーナー



記録用紙に記載したものを透明カーテンの向こう側から貼ってもらっていた。

病棟における ゾーニング (7月8月)

汚染区域

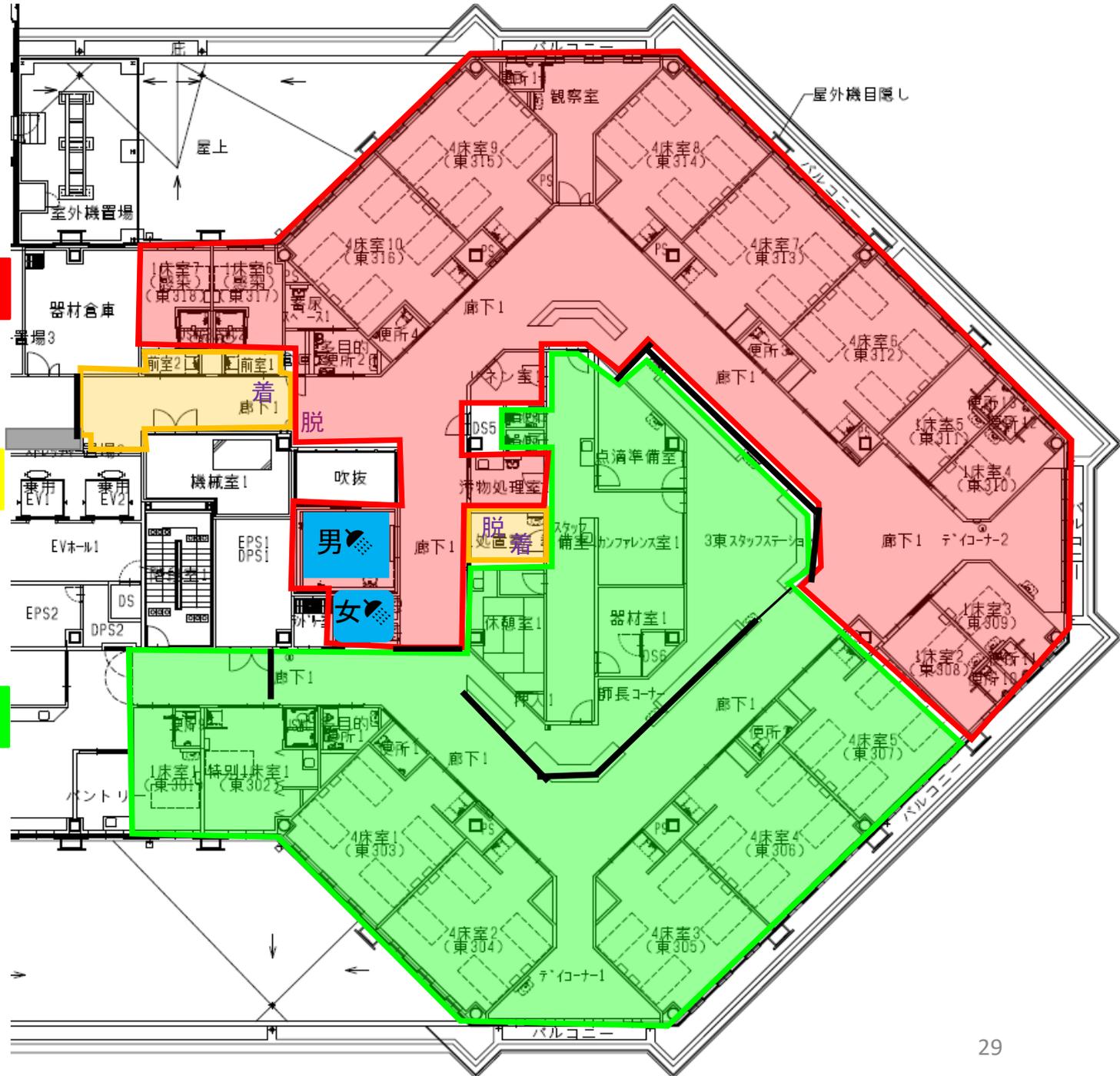
PPEを着るべき場所
(患者ゾーン)

準汚染区域

PPEを着るべき場所
汚染PPEを脱ぐ場所
(患者は入らない)

清潔区域

PPEを着けては
いけない場所



専用病棟の人員確保について

4月以前

看護師 20名

看護助手 8名



4月以降

看護師 14名

- ・ 軽症患者中心のケア
- ・ 夜勤は不測事態を想定し2名体制
- ・ 夜勤回数7回/月→必要数14名

人選方法

手挙げ → 高リスク者除外で絞り込み

**3 若林参考人提出資料
(国立大学法人東京医科歯科大学
医学部附属病院)**



第28回地域医療構想に関する ワーキンググループ	資料3
令和2年11月5日	

当院におけるコロナ重症患者対応

東京医科歯科大学医学部附属病院
病院長補佐・集中治療部
若林 健二

2020/11/5 地域医療構想WG



東京医科歯科大学医学部附属病院 (TMDU)

全753床 (一般病床 712床)

- ICU 26床、HCU 24床
- 手術件数 8,680件 (2018年度)
- 1日平均外来受診者 2,250名/日 (2018年度)

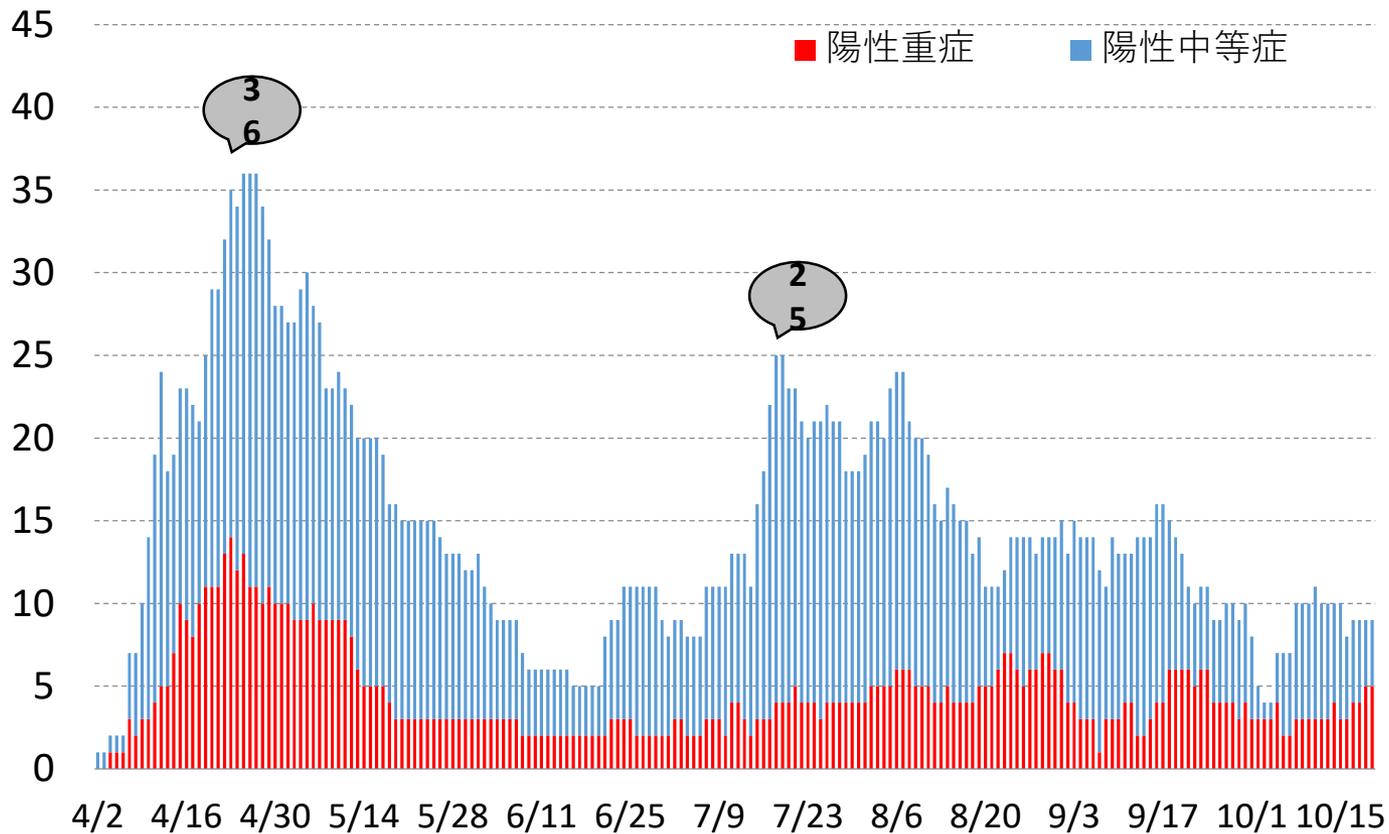
地域別患者数

- 23区内 約60%
- その他都内 約8%
- 埼玉県 約13%
- 千葉県 約10%
- 神奈川県 約5%
- 茨城県 約2%





対応の実際 - 陽性病棟入院患者数



【東京都重症基準】
人工呼吸管理または ECMO を使用している患者



病床の転換状況 (6月1日時点)

○医学部附属病院の病床について (病院全体) **753床**

● 休止病床 **230床**

病棟	B-2 (精神科)	A11	A13	ER-HCU	コロナ病棟の 休止分
病床数	41床	48床	40床	16床	85床
計	230床				

● 歯学部附属病院 診療休止

緊急性のある疾患
(悪性腫瘍や重篤な急性炎症等) 以外

● コロナ対応病床 **90床** (最大)

看護師配置換え

病棟	元病床数	コロナ対応に 転換後	5/11 入院実数	6/1 入院実数	対象患者
ER-ICU	14床	12床	5	3	重症患者
ICU	12床	10床	4	0	
A-9	41床	21床	7	0	中等症患者
B-10	46床	22床	7	12	
A-10	43床	16床	4	0	疑い患者
B-9	19床	9床	3	3	
計	175床	90床	30	18	

● 一般 (非コロナ) 病床 **433床**

入院患者実数は救急・手術休止のため200人前後



病床の転換状況 (9月23日時点)

○医学部附属病院の病床について (病院全体) **753床**

● **コロナ対応病床 52床**

病棟	元病床数	コロナ対応に 転換後	対象患者
ICU	12床	12床	重症患者
B-10	46床	25床	中等症患者
A-9 (RI含む)	45床	15床	疑い患者
計	103床	52床	

● **休止病床 82床**

病棟	ER-HCU	B9	コロナ対応病棟の 休止分
病床数	16床	15床	51床
計	82床		

総計 : 134床

● 一般 (非コロナ) 病床 **619床**



ICUの現ゾーニング

患者入退室経路
スタッフ入室経路



スタッフ退室経路

締切

衝立



ゾーニングの実際

4月



5月



7月





医学部附属病院 新型コロナウイルス対策の状況

○「バックヤード」の業務等の体制について

診療制限により手の空いた外科系医師・歯科医師に協力を依頼

- ・ テント診療の外回り
- ・ ER外来の夜間電話対応
- ・ 患者受入搬送、検査搬送、アンギオ介助
- ・ ICU清掃



○職員のメンタルヘルスケアサポート

- ・ 医師(精神科・心身医療科)
- ・ 面談実施数： >1000 (看護師、医師、コメディカル、クラーク、事務)

○歯学部附属病院からの支援

看護師：21名(57名中)、臨床検査技師：3名(5名中)、放射線技師：2名(7名中)
医病玄関トリアージ・クリーンルーム外来のコロナ専用外来化



重症コロナ陽性患者診療と地域連携

院内体制整備

- 一般病棟の病床確保
 - 一時期は稼働率半分以下を目指した転院調整・入院制限
 - 連携病院との取り決め

コロナ患者の地域連携体制整備

- 院内感染が発生した病院との連携
 - DMAT carを用いた搬送体制整備
- 重症患者の転院症例増加
 - 抜管後back transferする方針が徐々に定着

現状と今後の体制整備

- 合併症を有する陽性患者の増加
 - 心筋梗塞、脳出血、透析患者など
- 疑い病床逼迫の懸念
 - 「インフルエンザのみ陽性」患者の体制検討

4 大澤参考人提出資料 (医療法人社団直和会平成立石病院)

当院における新型コロナウイルス感染症への対応

医療法人社団『直和会』 平成立石病院

院長 大澤 秀一

当院紹介

病院名： 医療法人社団直和会 平成立石病院

住 所：東京都葛飾区立石5-1-9（葛飾区の人口；約46万人、高齢者率；約25%）*

診療科： 内科・外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・救急科他 *葛飾区公式サイトよ

り

一般病床 203床

一般入院基本料 7:1

指 定 等： 東京都指定二次救急医療機関

東京都災害拠点病院指定

日本医療機能評価機構認定病院

東京都感染症診療協力医療機関

東京都新型コロナウイルス感染症患者入院重点医療機関



*当院は地域における急性期医療、救急医療、災害医療等を担っております。

新型コロナウイルス患者の受け入れ病床

当院は地上6階建てで、入院病床は1階、3階、4階、5階となっております。
 その中で、1階病棟の一部(102号室)は、感染症対策のため様々な工夫がなされており、今回のコロナにおいても素早い対応ができました。

③院内を bypass して直接病室へ入室可能

- 6階 医局・薬局・会議室等
- 5階病棟 (67床) 一般急性期
- 4階病棟 (69床) 一般急性期
- 3階病棟 (41床) ICU・HCU
- 2階 検査・画像・リハビリ等
- 1階病棟 (26床) 一般急性期

【1階フロア見取り図】



①まず102号室7床を受け入れ病室として使用

②シャッターで病室隔離

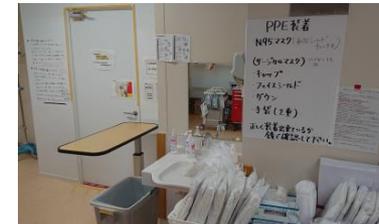


新型コロナウイルス患者の受け入れ病棟 ～壁の設置と陰圧対策～

さらに多くの患者を受け入れるために、1階病棟（26床中の19床）をコロナ専用病棟としました。まず、患者スペースとの間に壁を設置し、7床分のベッドを潰し前室としてのスペースを確保しました。さらに、病棟内を陰圧にするため陰圧用換気システムを増設しました。



ビニールシートでの陰圧確認



壁の設置



前室



新型コロナウイルス患者の受け入れ病棟 ～ゾーニングとPPE～

職員たちが安心して勤務できる様、ゾーニングとPPE の徹底的な教育を行いました。

職員出入口

グリーンゾーン

イエローゾーン

レッドゾーン

救急処置室
診察室 7
診察室 6
化学療法室
診察室 2
診察室 1
正面玄関
待合ロビー
売店
受付 会計
入退院 相談室
相談室
病室 101
病室 102

女子トイレ
男子トイレ
エレベーター
受付
洗面室
自動販売機
電話

グリーンゾーンからイエローゾーンへ

イエローゾーンからレッドゾーンへ

前室でのPPE の徹底
着用
気道分泌物の吸引、気管挿管、N95装着、気管支鏡検査、心肺蘇生を行う可能性がある場合はN95マスクを使用する。

ポイント①
N95装着後はユーザーシールチェック

ポイント②
N95→シールドマスク→キャップの順

完成形

- 両手でマスクを握る
- 鼻を強く押し出す
- マスクと顔の隙間から空気が漏れないことを確認する

コロナ病棟での医療従事者

看護師) 1階病棟をコロナ専用病棟としたことで、基本は1階病棟のナースを専従としました(約30名)。その中で、レッドゾーンに入るナースは十数名とし、残りのスタッフ(持病のある職員や経験の浅いナース)はグリーンゾーンでの勤務としました。

現在は、コロナ対応が長期化してきたので、他病棟から応援で週単位での勤務をする様にしました(特に感染委員ナースが就くことが多い)。

医師) 当初は、私と名誉院長がほぼ専従でコロナ担当となりました。最近では、数名のドクターたちが、ヘルプに入ってくれています。

その他) グリーンゾーンまでは、一般職員も入り通常通り勤務しているが、レッドゾーンにおいては、ナース以外が入る事はほとんどありません。

当院でのコロナ患者の受け入れ実績

【第一波】 2月15日～5月19日

Total：45名 重症；2名、中等症；16名、軽症；27名

【第二波】 7月1日～10月31日

Total；202名 重症6名、中等症；54名、軽症；142名

【全期間】 Total；247名

重症*；8名(3.2%)、中等症；70名(28.3%)、軽症；169名
(68.4%)

治療薬；アビガン；38名、デカドロン；8名、レムデシベル；1名

*重症の8名は、高次医療機関へ転院搬送となっております

終わりに

- 当院は民間病院ではありますが、地域医療を支えるため、早い時期よりコロナ患者の受け入れを行って参りました。
- 当初、風評被害も少なからずありましたが、地域の医師会や行政の方々の理解を得て、また多くの地域住民の方々の応援や支援もありこれまで頑張ってくることが出来ました。
- 何よりこれまで一人の陽性者も出していない職員たちの高い意識に感謝を述べたいと思います。
- 本日は、ご清聴ありがとうございました。

5 岡留構成員提出資料 (濟生会福岡総合病院)

第28回地域医療構想に関する ワーキンググループ	参考 資料
令和2年11月5日	

新型コロナウイルス感染症対応について

一般社団法人 日本病院会 副会長
済生会福岡総合病院 名誉院長
岡留 健一郎

2020.11.5
地域医療構想に関するワーキンググループ

■ 本日本話する内容

新型コロナウイルス感染症対応について

1. 病院の概要
2. 福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について
3. 当院の対応、受け入れ状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■ 病院の概要 ①

(2020年10月1日時点)



- ・ 開設日 : 大正8年3月15日
- ・ 開設者 : 社会福祉法人恩賜財団済生会
- ・ 所在地 : 福岡県福岡市中央区天神
- ・ 建 物 : 地上14階(屋上ヘリポート)
- ・ 職員数 : 965名
- ・ 病院実績(2019年度)
 - 平均在院日数 10.4日
 - 病床利用率 84.7%
 - 入院診療単価 89,028円
 - 紹介率 88.2%
- ・ 標榜科 : 26診療科
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、
脳・血管内科、心療内科、精神科、小児科、外科、
呼吸器外科、血管外科、消化器外科、心臓血管外科、
脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、産婦人科、
眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、放射線科、
麻酔科、病理診断科、救急科

■ 病院の概要 ②

(2020年10月1日時点)



- ・ 病床数 : 380床
 - 一般病棟入院基本料7対1 : 305床
 - 救命救急センター : 50床
 - (救命救急入院料 : 46床)
 - (特定集中治療室管理料 : 4床)
 - ハイケアユニット入院医療管理料 : 16床
 - 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 : 9床



- ・ 主な指定 :
 - 福岡地区第三次救急医療機関
 - 地域医療支援病院
 - 地域がん診療連携拠点病院
 - 厚生労働省指定臨床研修病院
 - 福岡県災害拠点病院
 - D P C 特定病院群
 - 日本国際病院 (J I H)

■ 福岡市について

福岡市ホームページより（2020年9月1日時点）

総人口 1,603,043人（男：756,352人 女：842,691人）世帯数 832,635世帯

【福岡県の2次医療圏】



【福岡・糸島医療圏における2025年の必要病床数と病床機能報告の比較】

2025年の必要病床数



合計：20,976床

病床機能報告（2018年）



合計：19,491床

■ 本日本話する内容

新型コロナウイルス感染症対応について

1. 病院の概要
2. 福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について
3. 当院の対応、受入状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■ 新型コロナウイルス感染症発生状況【福岡県】

ひとりでいいから、
笑顔あふれ、日本を救え。

新型コロナウイルス感染症発生状況等【全県】

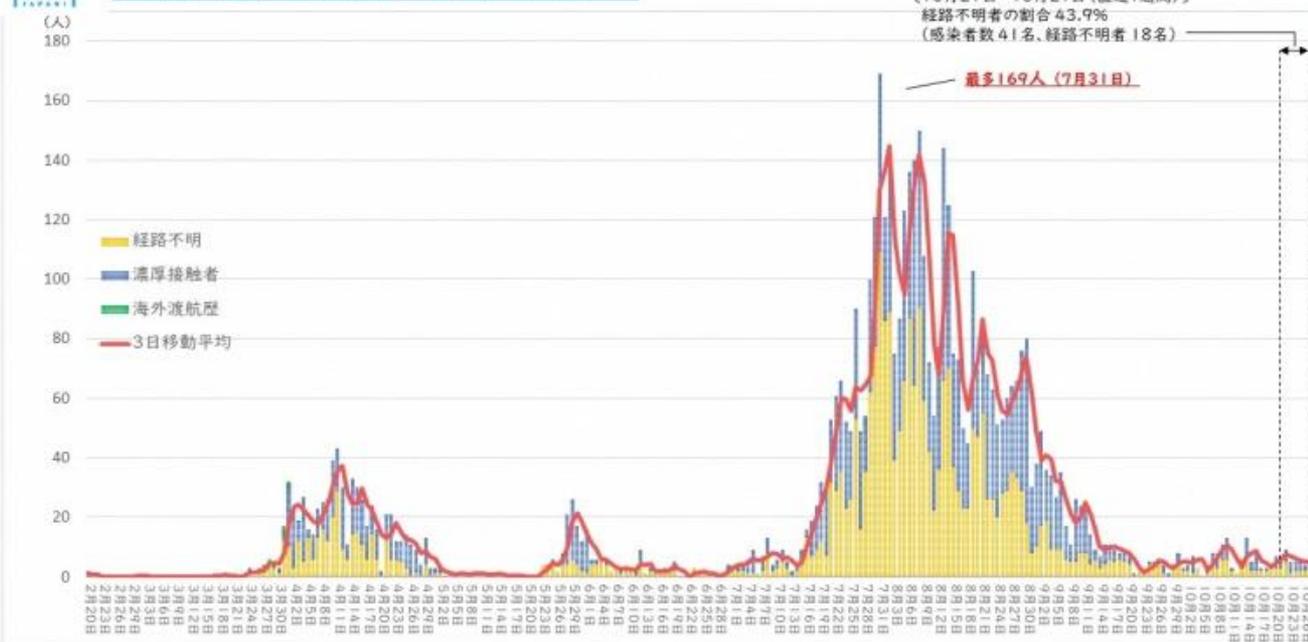
福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部



新規感染者数の推移（感染経路別）10月27日現在

〔10月21日～10月27日（直近1週間）〕

経路不明者の割合 43.9%
（感染者数 41名、経路不明者 18名）



福岡県HPより

■ 新型コロナウイルス感染症発生状況【福岡市】

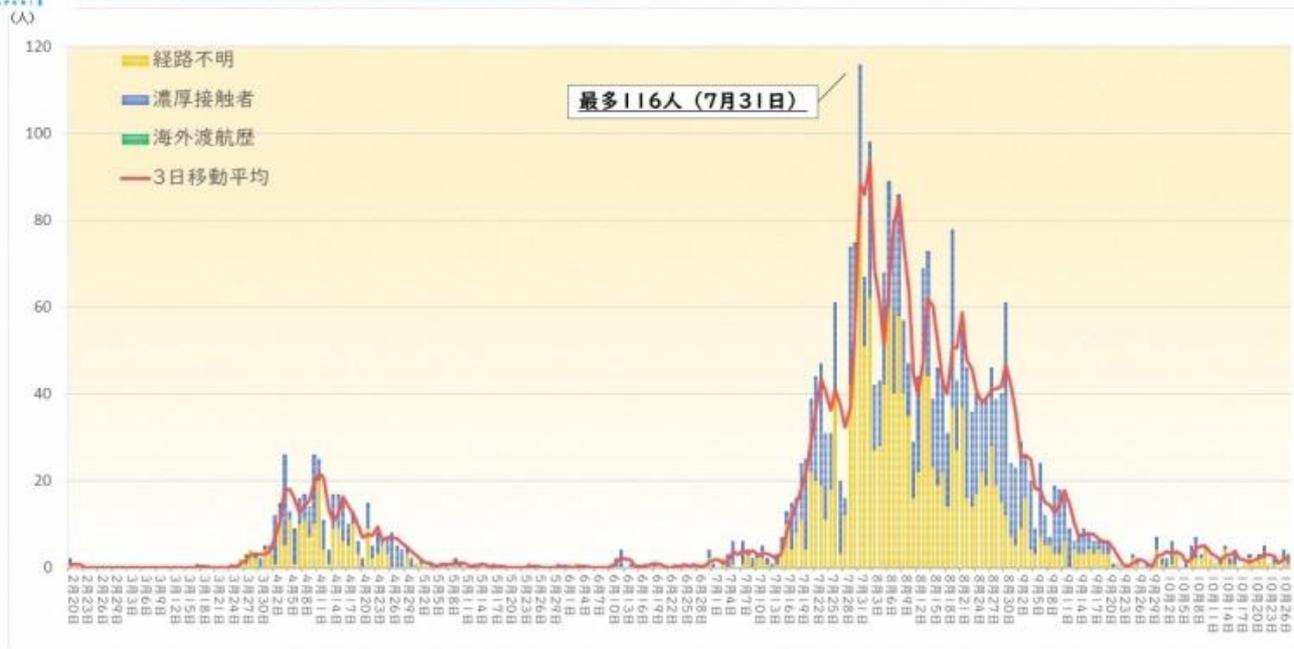
ひとりとりの行動が、
福岡を救う。日本を救う。

新型コロナウイルス感染症発生状況等【福岡市】

福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部



新規感染者数の推移（感染経路別）10月27日現在



福岡県HPより

■ 新型コロナウイルス感染症発生状況【福岡県】



福 岡 コ ロ ナ 警 報

10月28日現在

内 容	基 準	10月26日	10月27日	10月28日
感 染 者 数	1日当たりの感染者が 3日連続40人※以上で かつ増加傾向	5.0人	5.0人	5.7人
感染経路不明者 の 割 合	1週間当たりの割合が 50%以上	41.9% (18人/43人)	43.9% (18人/41人)	52.4% (22人/42人)
病 床 稼 働 率	25%以上	7.6% (42床)	7.8% (43床)	7.6% (42床)
重症病床稼働率	25%以上	4.4% (4床)	4.4% (4床)	4.4% (4床)

※ 3日移動平均

福岡県HPより

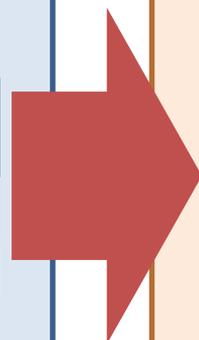
■ 本日本話する内容

新型コロナウイルス感染症対応について

1. 病院の概要
2. 福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について
3. 当院の対応、受入状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■ 感染症患者受入病床の確保について

通常時		
13階病棟	急性期1	42床
12階病棟	急性期1	50床
11階病棟	急性期1	57床
10階病棟	急性期1	42床
	SCU	9床
9階病棟	急性期1	55床
8階病棟	急性期1	59床
7階救命救急センター		33床
6階救命救急センター		17床
	HCU	16床



コロナ対応時		
13階病棟	急性期1	42床
12階病棟	急性期1	50床
11階病棟	急性期1	57床
10階病棟	急性期1	42床
	SCU	9床
9階病棟	急性期1	55床
8階病棟	急性期1	59床
※7階救命救急センター		33床
6階救命救急センター		17床
	HCU	16床

※救命救急センターの一部をコロナ専用病床へ変更し受け入れを行った。

■ 当院での受入状況

- 病床確保数（救命救急センター内）

期間	2/17~3/31	4/1~4/21	4/22~5/24	5/25~6/1	6/2~6/30
病床数	1床	4床	16床	6床	4床
期間	7/1~7/22	7/23~8/6	8/7~9/14	9/15~現在	
病床数	1床	4床	16床	6床	

- 入院患者受け入れ数(実人数・疑い含) **() 内の数字は陽性者** 単位：名

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
0(0)	0(0)	3(1)	25(9)	11(0)	16(0)	22(2)	50(34)	22(8)	12(0)	161(54)

- 帰国者・接触者外来PCR検査受け入れ数 単位：名

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
0	7	25	246	95	63	347	694	156	29	1,662

■ 院内の感染防止対策



■ 検温用サーマルカメラの導入



■ 入院病棟のゾーニング



今後の受入体制を踏まえて改修工事を施工



■ 入院患者への対応



■ 新型コロナウイルス感染症対策関連の費用について①

(2020年1月～9月)

主な項目 No.1

・ 医療・事務消耗品等 ※初療室及び7階病棟で使用したマスク、ガウン、 フェイスシールド、洗浄剤等	3,339,481円
・ 専用プレハブ設置・設備整備 ※専用診察室として2室設置、診察用備品整備	794,365円
・ 検温用サーマルカメラ設置 ※来院される方の検温を実施	995,500円

■ 新型コロナウイルス感染症対策関連の費用について②

(2020年1月～9月)

主な項目 No.2

- | | |
|---------------------------------------|-------------|
| • 医療機器整備
※人工呼吸器、メラ遠心血液ポンプシステム | 21,235,500円 |
| • 7階病棟のセグメンテーション
※状況に応じ計3回のレイアウト変更 | 1,373,550円 |
| • 窓口等の飛沫防止シールドは病院保有の資材で職員が作成 | |

費用合計 27,738,396円

■ 本日本話する内容

新型コロナウイルス感染症対応について

1. 病院の概要
2. 福岡県、福岡市のCOVID-19発生状況について
3. 当院の対応、受入状況について
4. これまでの振り返りと今後の対策について

■これまでの振り返りと今後の対策について（まとめ）

- 当院ではI C T（感染制御チーム）が中心となり、速やかに受け入れ体制の整備やマニュアルを作成し対応した。
- 病院の構造上、4対1の看護体制である救命救急センターの一部を受け入れ病床とすることが出来たため、看護職員の配置を変更する必要はなかった。また、救命救急センターには陰圧個室があり、従来より感染患者の対応を行っていたことも強みとなった。その結果として救急医療と新型コロナウイルス感染症対応を両立することが出来た。
- 2次医療圏内では県や市、感染症指定医療機関が中心となり、主に急性期機能を担う医療機関が協力して地域での受け入れ体制を構築した。
- 今後、新型コロナウイルス感染症については重点、協力医療機関など、各医療機関が担う役割に沿って対応していくことになるが、本来の地域での役割（急性期機能など）や一般医療との両立が求められる。

ご清聴ありがとうございました。